出席•回答率 科目名 情報学部・科目5 29.8% (出席・回答者数/登録者数) (17/57)設問項目別回答率 [I](1)あなたは、この授業にどの程度出席していますか。 ア. 毎回出席している イ. 大体出席している ウ.半分ぐらい出席している エ.あまり出席していない ア | 29.4% イ | 58.8% ウ | 11.8% エ 0.0% (2)あなたはこの授業に積極的に取り組んでいますか。 ウ. やや消極的である エ. かなり消極的である ア. かなり積極的である イ. やや積極的である 5.9% イ 76.5% ウ 17.6% エ 0.0% (3)あなたは、この授業に関する自学自習をしていますか。 ア. かなりしている イ. ある程度している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない 6.3% イ 25.0% ウ 37.5% エ 31.3% (4)シラバスは授業の目標、内容、評価法などを示していますが、この授業を履修するのに役立ちましたか。 ア. かなり役立った イ. ある程度役立った ウ. あまり役立たなかった エ. 全く役立たなかった オ. 読まなかった 52.9% ウ 17.6% エ 11.8% イ 0.0% オ 17.6% (5)この授業内容のボリューム〈分量〉は適当ですか。 イ. やや多い エ. やや少ない オ. かなり少ない ア. かなり多い ウ. 適当である 17.6% イ 17.6% ウ 64.7% エ 0.0% | 才 | 0.0% (6)この授業の難易度は適当ですか。 ウ. 適当である エ. やや易しい ア. かなり難しい イ. やや難しい オ. かなり易しい ア 11.8% イ 0.0% オ 0.0% (7)担当の先生の説明は分かりやすいですか。 ア. かなり分かりやすい イ. やや分かりやすい ウ. やや分かりにくい エ. かなり分かりにくい ア | 41.2% | イ | 52.9% | ウ | 5.9% エ 0.0% (8)テキストやレジュメなど教材はこの授業の理解に役立っていますか。 ア. かなり役立っている イ. ある程度役立っている ウ. あまり役立っていない エ. 全く役立っていない ア | 17.6% | イ | 64.7% | ウ | 17.6% | エ | 0.0% (9)担当の先生は授業にあたり、毎回どの程度準備していると思われますか。 ア. かなりよく準備している イ. ある程度準備している ウ. あまり準備していない エ. 全く準備していない 5.9% 58.8% イ 29.4% ウー 5.9% エー (10) 先生の授業に対する熱意や意欲は感じられますか。 ウ. あまり感じられない エ. 全く感じられない ア. かなり感じられる イ. ある程度感じられる 47.1% イ 47.1% ウ 0.0% エ 5.9% (11)11月の授業内で、「授業改善シート」は実施されましたか。 ア. 実施された イ. 実施されなかった、または、実施時に欠席していた 62.5% イ 37.5% (12)「授業改善シート」の結果を受けて、どの程度授業が改善されましたか。 ア. かなり改善された イ. ある程度改善された ウ. あまり改善されなかった エ. 全く改善されなかった 18.8% イ 56.3% ウ 18.8% エ 6.3% (13)この授業に関する受講生の声(意見・質問)に対して、教員から何らかの説明がありましたか。 ア. かなり十分な説明があった イ. ある程度説明があった ウ. あまり説明がなかった エ. 全く説明がなかった 35.3% イ 35.3% ウ 17.6% エ 11.8% (14)この授業を受けて、学習意欲は刺激されますか。 ウ. あまり刺激されない エ. 全く刺激されない ア. かなり刺激される イ. ある程度刺激される 5.9% イ 70.6% ウ 23.5% エ 0.0% (15)この授業の内容は理解出来ますか。 ア. かなりよく理解できる イ. ある程度理解できる ウ. あまり理解できない エ、全く理解できない ア | 11.8% | イ | 70.6% | ウ | 11.8% | エ | 5.9% ____ (16)この授業に満足していますか。 ア. かなり満足している イ. やや満足している ウ. やや不満である エ. かなり不満である 29.4% 1 58.8% ウ 11.8% エ 1 0.0% (17) 自分を作り上げる努力をするうえで、この授業は役立ちますか。 ア. かなり役立つ イ. ある程度役立つ ウ. あまり役立たない エ. 全く役立たない 5.9% イ 70.6% ウ 17.6% エ 5.9% (18)あなたはこの授業を他の学生にも薦めたいですか。

ウ. あまり薦めたくない エ. 薦めたくない

0.0%

ア. ぜひ薦めたい

29.4% イ

イ. できるだけ薦めたい

11.8% エ

58.8% ウ

[A]この授業を履修した動機は何ですか。当てはまるものを全て選びマークしてください。

(19)専門性を高めたいから (20)興味・関心を持ったから

(21) 友達・先輩が取ったから

(22)時間割上の都合から

(23)簡単に単位が取れそうだから

(24)必修だったから

(19)	17.6%	(20)	41.2%	(21)	17.6%
(22)	41.2%	(23)	29.4%	(24)	0.0%

[B]あなたがこの授業で工夫してもらいたいと思うものを全て選びマークしてください。

(25)ビデオなど視聴覚教材の活用

(26) power pointなどのIT教材の活用

(27)上手な板書

(28) 話題や例示の妥当性

(29)この中にはない

(30)満足している

(25)	5.9%	(26)	0.0%	(27)	5.9%
(28)	0.0%	(29)	23.5%	(30)	41.2%

[C]この授業で先生とどのような手段で交流をはかりたいですか。該当するものを全て選びマークしてください。

(31)教室での対話

(32)教室外での対話

(33)e—mail

(34)オフィスアワー

(35)レポートによる感想や意見

(36)この中にはない

(37)その他

23.5% (32) 0.0% (33) 0.0% (34) 5.9% (31)

(35)5.9% (36) 29.4% (37) 0.0%

1)自己評価

本講義の履修登録者57名のうち、出席率50%以上が4割弱、同75%以上が2割弱であり、出席率が極めて低い結 果となった。講義に1回も出席しなかった履修登録者は全体の4割強を占めており、とりあえず登録はしたものの、単 位不要と判断した学生が多かったことが伺える。後期授業アンケートの回答者17名は履修登録者の3割にあたり、ア ンケート結果には、比較的出席率のよい学生の意見が強く反映されていると考えられる。

本講義の受講者は、前期の「地球科学 I」に引き続いて受講した者が大部分である。前期の「地球科学 I」では、 約46億年前の地球誕生から始まる「地球の歴史」を紹介したのに対して、後期の「地球科学Ⅱ」では、台風や地震な どの「自然災害」をテーマとして掲げた。地震等の発生メカニズムを解説したり、数値データをもとにグラフを作成した りしたことから、後期の講義内容は少し理系寄りになったかと思う。そのためか、35%の受講生は「(問5)授業内容の 分量が(やや)多い」と感じ、25%の受講生が「(問6)授業の難易度が(やや)高い」と答えている。それでも、「(問2)授 業に積極的に取り組んでいる」受講生が82%と多くいたことは幸いであった。ただし、多くの受講生が「(問14)学習意 欲をやや刺激された」(76%)と答えているにも関わらず、7割の受講生は「(問3)あまり自学自習していない」(69%) 状況であった。今後、授業内容への関心を自発的な学習活動へと結び付けていく工夫が必要であろう。

②評価に対する教員の思い

本講義の出席率は極めて低く、平均して履修登録者の3割程度(20名前後)の出席しかなかった。この低い出席率 の原因が、授業内容や授業方法などの教員側の問題にあったのか、単位不要等、学生側の都合だったのかを明確 に判断できる材料がこの授業アンケートにはない。授業アンケートによる授業改善の目標が出席率向上も含むので あれば、アンケートの実施方法等を検討する必要があるかもしれない。

上記にある通り、「(問3)自学自習していない」学生が受講者の7割を占めている。本講義は技術の習得を目的とし た科目ではないため、自学自習を行なう上で自ら学習目標を設定しにくいのかもしれない。地震等の自然災害や、地 |球温暖化、環境問題など、地球科学に関連した出来事はマスメディアにもよく取り上げられている。少しでも興味をひ かれた事について、図書館や本屋等を利用して見聞を深めていくことが自学自習につながると考えている。

③より充実した授業のために・・・自己評価を踏まえての目標と課題

受講生の35%が「(問5)授業内容の分量が多い」という感想をもったことは、あれもこれもと様々なことを授業内容に 詰め込みすぎたためであろうと反省している。当初、グラフや図をもとに、そこから何が読み取れるのかをじっくりと考 える授業展開を、と考えていたのだが、話そうと思う事柄を追加していった結果、授業内容が膨らんでしまった。取り 扱う項目を精査し、ポイントを絞って深く掘り下げる授業を行なうようにしたい。そうした授業を実践することで、受講 生の意見を聞きながら、様々な考えを引き出すことができ、「(問25~30)授業で工夫すべき点」として指摘された「教 室内での対話」(25%)も充実できると考えている。

※①②③に記載された内容については、学生に対しては、科目名・教員名を記載し学内webにて 公表します。

学外への公表については、教員名を消し、科目名を(例)「学部・科目1」という表記にして公開します。